

恵 Keiju 寿

先端医療から福祉まで「生きる」を応援します

特集

ひと、くらし、みらいのために
地域包括ケアシステム

2015年 新年のご挨拶

社会医療法人財団 董仙会
理事長

神野 正博





2015

春

ひと、くらし、みらいのために

「生きる」を応援します。

迎





新年あけまして おめでとうございます。

2015年いよいよすべての団塊の世代の皆様が65歳に突入する年となりました。この本格的な少子高齢社会に向けて日本社会、地方社会に様々な懸念が示されています。羊の鳴き声(メエ〜)ではありませんが「迷」の時代^{メイ}に入ろうとしているかもしれません。

しかし、私たちは日本の、いや世界の高齢社会の先を行くこの地で、「明」^{メイ}のモデルを組み立てる気概を持ちたいと思います。そこでは、高齢者だけではなく、地域住民みんなが安心できるコミュニティーを作り上げる必要があります。

みんなの暮らし、未来を応援するためにこそ、「地域包括ケアシステム」を組み立てる必要があります。

新年にあたって、本誌『恵寿』は、私たちが考える「地域包括ケアシステム」のこれまでとこれからを示すことにしました。

今年を「地域包括ケアシステム」元年ととらえ、さらに多くの利用者さんや職員とともに地域をデザインしていきたいと考えております。

2015年 新春

社会医療法人財団 董仙会

理事長 神野 正博

地域包括 ケアシステム

『時々入院、ほぼ在宅』…国が推し進めようとしているこれからの**社会の姿**です。住み慣れた地域で在宅生活を中心に、医療、介護、予防、生活支援サービスなどが途切れることなく、かつ制度の垣根なく総合的に提供される仕組みが『地域包括ケアシステム』として、求められています。

そこでは、病気になっても、介護が必要になっても、**「面倒見のよい」「安心して暮らす」**ことのできる洗練されたサービスが求められています。

わたしたち「恵寿」では、恵寿総合病院を中心とする社会医療法人董仙会と青山彩光苑を中心とする社会福祉法人徳充会が“けいじゅヘルスケアシステム”として地域に一体的にサービスを提供する体制を整えてきました。



けいじゅヘルスケアシステムの地域包括ケアシステム

その1 下図のような施設群で一体的なサービス

その2 コンピューターシステム

1997年より、一人にひとつのID番号で、医療、介護、福祉情報を一元的に管理しています。けいじゅヘルスケアシステムのどの施設で医療、介護を受けても他の全施設で『あなたのことがわかります』。このようなシステムが稼働しているのは、日本で恵寿だけです。

その3 けいじゅサービスセンター (コールセンター) 0767-52-2300

コンピューターシステムでの情報を背景に、365日年中無休で、ご利用者の医療や介護に関わる予約や問い合わせにお応えします。

その4 在宅総合サービスセンター




14人の多職種にわたるケアマネジャーが在宅生活に最適なケアプランを提案します。訪問介護、訪問リハビリテーションに加えて、今後、訪問診療、訪問看護の充実を図ります。


その5 地域包括ケア病棟






在宅復帰を支援する地域包括ケア病棟が県内第一号として2014年7月、恵寿総合病院に誕生しました。急性期医療から在宅医療への準備病棟であると同時に、医療処置が必要な在宅患者さんのケアをしているご家族を癒すため、一時的にケアを代替し、リフレッシュを図ってもらう家族支援病棟の機能もあります。

医療から介護へ、介護から医療へ





医療


恵寿総合病院 24科 426床   
 急性期病棟 (7:1・DPC) 292床
 回復期リハビリテーション病棟 47床
 地域包括ケア病棟 47床
 障害者病棟 40床
 PET-CT・リニアックセンター





恵寿金沢病院 10科 89床 
 急性期病棟 (7:1) 72床
 地域包括ケア病床 17床








クリニック 4 
 恵寿ローレルクリニック 
 恵寿鳩ヶ丘クリニック 
 鳥屋診療所 
 田鶴浜診療所 

介護











介護老人保健施設 2
 和光苑  
 鶴友苑  

介護療養型老人保健施設 1
 恵寿鳩ヶ丘 

介護老人福祉施設 2
 エレガントなぎの浦   
 エレガントたつのはま 

デイサービスセンター 4
 ほのぼの 
 いこい 
 もみの木苑  
 ふれあいの里   

10種類の在宅サービス

-  訪問診療
-  訪問看護
-  訪問リハビリテーション
-  訪問ヘルパー
-  デイケア
-  デイサービス
-  福祉用具レンタル
-  配食サービス
-  ショートステイ
-  訪問入浴



ひと、暮らし、みらいを

地域包括ケ



恵寿ローレルクリニック 院長

吉岡 哲也 医師

クリニック

ケアプランに沿って定期的に何う訪問診療の他に患者さんの求めに応じて往診も行っています。

看護部

患者さんに一番適した病棟を選択いたします。
また訪問看護も行っています。



看護部長

本橋 敏美

看護副部長

前浜 静香

看護師長

船山 真理子(教育担当)



地域連携

クリニックとの橋渡しを行っています。



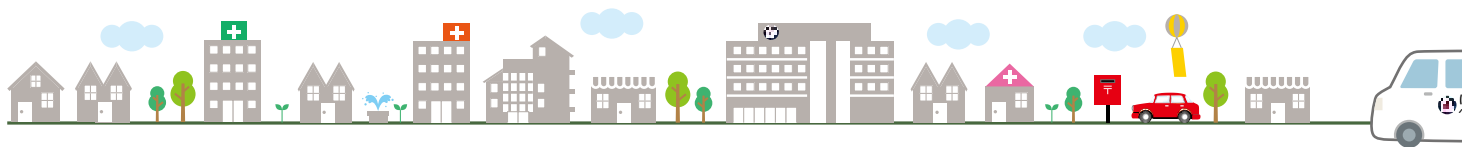
ソーシャルワーカー

私たちはけいじゅサービスセンターにいます。病院で困ったことは、経済的なこと・社会的なことなど何でも相談してください。例えば介護保険の手続き、医療費の相談、難病の申請、障害者手帳の申請などを行います。

コールセンター

すべてのお問い合わせはこちらまで

☎0767-52-3211



支えるスペシャリスト

アシテム

介護事業統括部

けいじゅの介護施設・事業所をコントロールする司令塔です。

介護事業統括部長

小垣 悟

施設事務長

奥本 健司 (中能登事業所担当)

介護事業統括副部長

吉田 茂和



介護療養型老人保健施設 恵寿鳩ヶ丘施設長

宮本 正俊 医師

老人保健施設

医師が常駐し、医療もできる介護施設です。



ケアマネジャー

介護保険を利用して、自立支援に力を入れた在宅でのケアプラン、入院へのケアプランなどベストなプランをつくります。介護保険を利用される方はいつもお立ち寄りください。

訪問リハビリ

専門スタッフが、ご自宅での生活行為向上を助けるためのリハビリを行います。





地域包括ケアシステム 構築のために ～その「必然」と「地域の覚悟」～

2014年12月2日に、日本の「地域包括ケアシステム」の第一人者である兵庫県立大学大学院の筒井孝子教授（前・厚生省国立保健医療科学院総括研究官）を七尾にお招きし、能登地区の医療介護関係者にご講演をいただきました。以下にその要旨の一部を掲載します。

本日は、地域包括ケアシステムとは何かということや、この推進のあり方についてお話ししたいと思います。

1. 社会保障制度の動向

わが国の社会保障給付費の内訳は給付が多い方から「年金」「医療」「福祉・介護等」という順になっております。このような社会保障制度の枠組みは、1960年代前半に創られています。まず、当時の予算規模と比較しますと現在の社会保障費用は、100倍以上の規模です。これだけの規模になることは、50年前にはとても想定できなかつたのではないかと思います。すでに国の財政は逼迫して

おり、これだけの規模の社会保障制度を継続することが難しくなりつつあるというのが現状といえます。

2. 地域包括ケアシステムとは

皆さんは「地域包括ケアシステム」とは何かについては、これまで、十分に説明がなされてこなかったという感じをお持ちではないでしょうか？

わが国の地域包括ケアシステムは、2つのコンセプトから成り立ったシステムです。ひとつは、コミュニティベースケア community-based care という任意の地域圏域内で構築されるシステムであり、地域主導で自助、公助、共助を築

き上げるシステムです。もうひとつは、インテグレートドケア integrated care と呼ばれている、医療におけるさまざまな分断を是正するための統合的なサービスを提供するシステムです。この両者の結合を目指すべきとされています。

多くの先進国でも、従来の社会保障制度の枠組みを維持したままでは財政赤字が累積してしまい、これらの制度の存続が困難になっております。このため、財政再建のためには、単なるサービスの抑制ではなく、サービス提供システムの改革が必要だと認識され、それを実行しつつあります。

そこで、この改革の理念として導入されてきたのが、integrated care であり、これを基盤としたシステムの改革のひとつが、医療と介護サービスを一体的に提供する仕組みをつくるということです。さらに医療については、急性期に医療資源を集中投入できる仕組みを構築し、長期療養と在宅介護は一本化するというシステム改革も多くの国でなされようとしています。

わが国では医療保険制度の改革として、地域における医療・介護の総合的な確保を図るために「各医療機関が医療機能（高度急性期、急性期、回復期、慢性期）を都道府県に報告する」病床機能報告制度がはじめられました。これから都道府県は各医療機能の必要量を含む地域の医療提供体制の将来あるべき姿、「地域医療ビジョン」を策定して、病院の姿にあった機能を持つ病院へと変革されねばなりません。

また、介護保険制度の下では地域ケア会議が法制化され、ここで困難なケースに対する適切なサービスを調整することや地域における課題を明らかにし、解決についての方法論を検討すること等が決められました。

こういった改革を経た後、地域包括ケアシステムを市町村は構築しなければならないとされています。

3. 地域包括ケアシステムの目標とその進め方

地域包括ケアシステムでは、「ケアへのアクセスの向上」「ケアの質の向上」「ケアを提供する仕組みの持続可能性の向上」という3つのゴールが設定されます。その進め方の基本は、システム内でのサービス提供は、ダブリなく、モレなく、総合的に提供することとなります。例えば、異なる専門職におけるアセスメントと処置の重複を避けるということも、この考え方に基づけば、ダブリをなくすという点から実行すべき内容となります。

また、地域包括ケアシステムにおいて、最も重要と考えられていることは、「私たちはどういうコミュニティで生きていきたいか」という規範を住民全体で決定することです。この規範の統合がないと、いくらシステムを改革していても、

よいシステムにはならないのです。

ですから、ここ七尾市にとっても、市民全体の総意としての規範の統合がとても大事です。地域包括ケアシステムは、ビジョンや目標が地域包括ケアシステム内の全組織全体に浸透し、共有されているか、これを基本としなければならないのです。

そして、このような規範の統合を維持しながら、システムを構築するためには、「リーダーシップ」と「情報共有の機能」が必要です。たとえば情報共有までは、医療機関等の努力でなんとかなるかもしれませんが、規範の統合とリーダーシップは首長を動かさない限り難しいです。

4. まとめ

地域包括ケアシステムを構築し、これがうまく機能するためには、このシステムが「どうあるべきか」について、住民とともに関係する者全員が徹底的に議論して決めることにありますが、基本的には「首長や議会の理解とやる気」、それから「地域住民の理解と協力をどう確保するか」という2点が大事です。

これから七尾市で、この2点に留意しながら、皆さん方独自の地域包括ケアシステムを創っていただくことを期待しております。



筒井孝子 つつい たかこ
兵庫県立大学大学院 経営研究科教授

1988年 筑波大学大学院修了。医学博士。工学博士取得。
研究領域は、医療・保健・福祉領域のサービス評価。医療保険制度における「看護必要度」研究ならびに介護保険制度設計の際には、要介護認定システムにおけるコンピュータによる一次判定システムの開発研究を担当。

2009年～2013年まで「地域包括ケア研究会」の委員として、同研究会報告書の取りまとめに参画。

2012年～2014年現在、中央社会保険医療協議会「診療報酬調査専門組織入院医療等の調査・評価分科会」、2013年～「認知症の初期集中支援サービスの構築に向けた基盤研究事業（国立長寿医療センター）」委員、2014年内閣官房「医療・介護情報の活用による改革の推進に関する専門調査会」委員。

Dr. インタビュー

利用者さんに納得した人生を送っていただくための施設です。

穴水町にある介護療養型老人保健施設 恵寿鳩ヶ丘・
恵寿鳩ヶ丘クリニック。

2014年10月に施設長兼院長に就任した、宮本正俊先生に
恵寿鳩ヶ丘の役割、今後の抱負などをお聞きました。

介護療養型老人保健施設 恵寿鳩ヶ丘 施設長
恵寿鳩ヶ丘クリニック 院長

宮本 正俊 みやもと まさとし

1972年金沢大学医学部卒業
金沢大学医学部第二外科学教室研修医
金沢医科大学小児外科学教室講師
富山市立富山市民病院小児外科部長
金沢大学小児外科特任教授などを歴任

【学会専門医】
日本外科学会外科専門医、指導医
日本小児外科学会小児外科専門医、指導医



—先生のご専門は小児外科とお聞きました。小児外科の概要や以前のお仕事内容について教えてください

宮本●子供の手術をするのが小児外科です。赤ちゃんから小学校入学前の子供たちの、主に消化器系や泌尿器系の手術をしていました。障害を持って生まれてきた子供たちが、将来、就学や就職、結婚などの社会生活が自立できるように、手術を通じてサポートしてきました

—恵寿鳩ヶ丘施設長として新たにスタートを切りましたが、以前の金沢大学時代と変わった点を伺えますか？

宮本●これまでの急性期医療から介護医療へ、“患者”さんから“利用者”さんへ、医師から施設長へ、と大きく変わりました。病気を克服するための薬や手術よりも、食事の選択と介助、おむつの世話、お風呂の世話、移動の介助などが極めて大事である事を知りました。そのために、いろいろな役割の多くのスタッフが必要であることも知りました。毎週、医師・看護師・介護士・社会福祉士・栄養士・理学療法士などが、利用者さん一人ひとりのケアや今後について考えています。

—戸惑う点、苦労されている点がありましたらお聞かせください

宮本●定年後の再出発として地域医療にかかわりたいと思い、縁あってこちらにきました。主に加齢による病気をもち、自立生活が難しくなってきたお年寄りのための施設になります。今まで子供たちの医療に携わってきましたが、今度はお年寄りの締めくくりの生活をサポートすることになりました。戸惑ってないと言えば嘘になりますが、利用者さんが子どものような心に戻っていくのがかわいく感じられることもあります。

—恵寿鳩ヶ丘・鳩ヶ丘クリニックの役割をお聞かせください

宮本●恵寿鳩ヶ丘は、老人保健施設のなかでも、ある程度の急性期医療ができる体制にあります。周りにある一般病院や介護施設と協力し、そのなかでの一つの役割を果たしています。病状がよくなり退院していく施設ではないので、本人を含めご家族と一緒にどうケアがよいか、どういうリハビリがよいか考えています。利用者さんに納得した人生を送っていただくための施設です。

—今後の抱負をお聞かせください

宮本●施設のある穴水は、内浦の静かな海や星空がきれいで、近くには、輪島、珠洲、能登、門前、能登島などの魅力的な場所があり、週末ごとに能登の文化を楽しんでいます。

これからの再出発を能登の地域医療の一端を担っていただけることに感謝し、これからもたくさんの方々にお世話になると思います。ご支援よろしく願います。



スタッフとともに

池野整形外科・耳鼻咽喉科医院

整形外科、耳鼻咽喉科

Profile

池野 敬 先生

いけの・けい

1997年3月 富山医科薬科大学医学部卒業
 1997年4月 金沢大学整形外科医局入局
 2010年4月 池野整形外科・耳鼻咽喉科医院 整形外科



診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00～ 12:00	○	○	○	○	○	○	/
13:30～ 17:00	○	○	○	○	○	/	/

休診日:日・祝(耳鼻咽喉科は水曜日休診)
 土曜は12:30まで診療 病床数:19床



〒925-0141
 石川県羽咋郡志賀町高浜町ソ9の1
 TEL 0767-32-0040

今回は、志賀町にある池野整形外科・耳鼻咽喉科医院の副院長・池野敬先生にお話を伺いました。

専門の整形外科疾患だけではなく、かかりつけ医として生活習慣病や外傷の初期治療も積極的にされています。

● 医師を目指されたきっかけは？

私で4代目の医師になるのですが、この地で開業していたので自然と私も医学部を目指し医師になりました。医学部在学中に父が病気になり、この道を選んで間違いはなかったと思いました。父の病気を通して、より患者さんの目線になれましたので、病む人の手伝いをしたいという強い意志を改めて持ちました。

● 先生の専門領域は？

専門は整形外科一般です。加齢による腰痛や膝の痛み、学生さんの捻挫や打撲などの外傷も診ています。かかりつけ医として、高血圧や糖尿病などの生活習慣病も診ています。

● 貴院の特徴をお教えてください

骨折などで短期入院が必要な患者さんに対応できることです。有床診療所ですので入院用ベッドを持っています。例えば、一人暮らしの高齢者で手術までは必要としないが、大きな病院では入院するのが難しいような患者さんの受け皿となっています。

また、妻が耳鼻咽喉科の診療を担当していますので、シニア世代から小さなお子さんまで整形外科から耳鼻咽喉科領域で幅広く診察をしています。院長は、産業医、小学校の校医といった健診事業を行っています。

● 地域連携についてどのようにお考えですか

一医療機関で一人の患者さんを支えること、サービスを全うすることはできないと実感しています。かかりつけ医には、生活習慣病を悪化させないことや次の合併症を起こさないこと、外傷の初期治療をしっかりしてそれ以上ひどくならないようにする役割があると考えています。病状が悪化した時、例えば手術が必要となった時には恵寿総合病院のような機能が充実した病院にお願いしますの

で、密な地域連携は私どもかかりつけ医にとっても患者さんにとっても必要で大切なことだと思います。恵寿総合病院のコールセンターは病院の先生の専門分野を良く把握しており、紹介する際に安心して相談できるのでありがたいと思っています。また恵寿総合病院の先生にはいつも丁寧に精査を行い診断し、適切な治療をしていただいております。

● 先生独自の取り組みがありましたら教えてください

疾患ではなく患者さんを診るということを心がけています。患者さんの生活背景を出来るだけ意識し、今後の治療の見通しや生活上の注意をお知らせしています。見通しがわからず不安に思われている方も多いので、その不安を取り除くように話すよう心がけています。生活習慣病を悪化させないように、骨粗鬆症の方なら骨折しないようなど、かかりつけ医として当たり前のことを一生懸命しています。

● 地域の皆さんへのメッセージがありましたら教えてください

整形外科や耳鼻咽喉科疾患、内科疾患の初期治療などかかりつけ医で対応できることは安心して受診していただけるように、勉強しております。体に不安なことがありましたら気軽にお越しください。



けいじゅヘルスケアシステムがご提案する新しい「暮らし」のかたち



LAUREL HEIGHTS KEIJU

ローレルハイツ 恵寿

恵寿総合病院のすぐそばに 2015年3月 OPEN



医
安心のメディカルホーム
食 **住**

地域初のサービス付き高齢者向け住宅と
ケアハウス、クリニックを併せた
安心のメディカルホームが恵寿総合病院前に誕生しました。
「医」「食」「住」の一貫した
豊かで安全なシニアライフを提供します。

お問い合わせ

 **社会福祉法人 徳充会**

所在地：七尾市富岡町95番地
(恵寿総合病院すぐそば)

ローレルイイヨ

TEL 0767-52-6014

ローレルハイツ恵寿担当 内田・松井

HP www.tokujyu.jp

- ① 恵寿総合病院 本館
- ② 恵寿総合病院 第3病棟
- ③ 恵寿総合病院 第5病棟
- ④ 恵寿PET-CT-リニアアクセスセンター
- ⑤ 外来第一駐車場
- ⑥ ローレルハイツ恵寿



社会医療法人財団 董仙会
(けいじゅ ヘルスケア システム)

恵寿総合病院